

歯科材料 1 歯科用金属
管理医療機器 歯科鑄造用合金 70767000

歯科用 K20・5g 板

【禁忌・禁止】

本合金、類似成分の合金又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

* 【形状・構造及び原理等】

*1) 形状：板状

*2) 成分・分量：

成分	分量
金	83.4%
銀	5.8%
銅	10.8%

*3) 原理

加熱熔融して鑄造する。
鑄造物は軟化熱処理により軟化特性を示す

*4) 性能：タイプⅢ（試験方法：JIS T 6116）

液相点：920℃

固相点：850℃

熱処理	軟化
耐力	245MPa
伸び	26%
密度	16.5g/cm ³
ビッカース硬さ	140HV

* 【使用目的又は効果】

金 60%以上であって、金及び白金族元素の合計が 75%以上を含有する歯科鑄造用合金。主としてインレー、クラウンに用いる。

* 【使用方法等】

使用方法

1. 埋没材 …クリストバライト埋没材を使用して下さい。使用方法は埋没材メーカーの指示に従って下さい。
2. スプルーイング …鑄体に応じて 1.5mmφ～2.5mmφのスプルー線を用い、湯溜りは必ずつけて下さい。
3. 融解 …溶湯が鏡面になり回転しはじめた時に鑄造してください。できるだけ短時間で融解し、オーバーヒートは避けて下さい。
4. 合金の再利用 …鑄造残材を使用する場合は、表面の不純物を良く取り除いてから使用して下さい。必ず、新品を半分以上加えて融解して下さい。
5. ろう付け …市販の K18 ろう・K16 ろうを使用して下さい。

6. 熱処理 …軟化熱処理は 650℃で 10 分間炉中保持した後、水中急冷して下さい。
7. 清掃 …塩酸 1：水 1 の温希塩酸または、市販の合金清掃剤を使用して清掃して下さい。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- (1) 本合金を再溶解する場合はサンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に取り除き、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。
- (2) 歯科用フラックスを使用する場合には、その説明書に表示してある使用上の注意事項を守ること。

* 【使用上の注意】

(1) 使用注意

- ①本合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密封した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
- ②本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ③他の合金と混溶しないこと。

(2) 重要な基本的注意

- ①本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②患者の口腔内の状態により硫化による変色が起こった場合には、使用を中止し、他の金属に取り替えること。

(3) 不具合・有害事象

有害事象

掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期限等】

〔保管方法〕

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 中溝貴金属工業株式会社
住所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3 丁目 16 番 7 号
電話番号 03-3491-4141（代表）